

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月23日

計画の名称	安心して暮らすための山口県流域下水道における老朽化対策の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	山口県											
計画の目標	流域下水道浄化センターにおいて、設備の老朽化による機能停止を未然に防ぎ、快適な生活環境を確保する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,636	A	3,636	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	汚水の流出、トイレの使用不可を未然に防ぎ、利用者が安心して暮らすため、周南流域下水道浄化センターの現有処理能力34,000m3/日を維持する。 周南流域下水道浄化センターの長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づく設備の改築達成率 改築済の設備数 / 計画期間内に改築すべき設備数	0%	%	100%
2	汚水の流出、トイレの使用不可を未然に防ぎ、利用者が安心して暮らすため、田布施川流域下水道浄化センターの現有処理能力8,400m3/日を維持する。 田布施川流域下水道浄化センターのストックマネジメント計画に基づく設備の改築達成率 改築済の設備数 / 計画期間内に改築すべき設備数	0%	%	100%
3	高潮等による浸水に対し、下水道施設の基本機能を確保するため、揚水設備・消毒設備等の耐水化を行う。 田布施川流域下水道浄化センターの耐水化実施率 耐水化済の施設数 / 耐水化すべき施設数	0%	%	33%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場	改築	終末処理場改築事業(周南浄化センター)	沈砂池・ポンプ・水処理・汚泥処理設備改築、SM計画策定、改築詳細設計	光市						2,196	-	策定済
			長寿命化計画																
	A07-002	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場	改築	終末処理場改築事業(田布施川浄化センター)	沈砂池・ポンプ・水処理・汚泥処理設備改築、改築詳細設計	田布施町						1,340	-	策定済
			ストックマネジメント計画																
下水道事業	A07-003	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場	-	終末処理場耐水化事業(田布施川浄化センター)	耐水化基本・詳細設計、管理棟・ポンプ送風機棟・消毒施設等耐水化	田布施町						100	-	未策定
											小計						3,636		
											合計						3,636		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R2	R3	
配分額 (a)	193	306	368	255	
計画別流用増△減額 (b)	0	△ 92	△ 32	0	
交付額 (c=a+b)	193	214	336	255	
前年度からの繰越額 (d)	74	68	0	217	
支払済額 (e)	199	282	118	333	
翌年度繰越額 (f)	68	0	217	140	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	20	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (i = (g+h)/(c+d)%)	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	
未契約繰越率＋不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 安心して暮らすための山口県流域下水道における老朽化対策の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種事業制度の計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適切である。	○